

品種	作付面積	単収	地域の単収との差(地域の平均単収)
北陸193号	約16.8ha	648kg/10a	180kg/10a (466kg/10a) [※]

※作柄調整後の地域の平均単収

【経営概況】

- 法人経営
- 主食用米、飼料用米の単作経営に取り組んでいる。

【作付品目】

- 主食用米
ハツシモ、ほしじるし等 15.7ha
- 飼料用米(種子用を含む)
北陸193号 16.8ha

【取組のきっかけ】

- 当時の人・農地プランや国の助成制度により規模拡大及び経営の安定化が図られることを期待し、平成22年(2010年)から飼料用米生産に取り組む。

【取組概要】

- 平成30年(2018年)産から多収、対倒伏性、栽培の容易さから、晩生品種「北陸193号」を選定し、栽培に取り組んでいる。
- 主食用米は「ハツシモ」「ほしじるし」等を生産しており、「ほしじるし」の一部については一般品種の飼料用米として生産し、実需者の早期の需要に対応している。
- 「北陸193号」の田植時期を「ほしじるし」の後と「ハツシモ」の後の2回に分けることで作業時期を分散させている。
- プール育苗による灌水作業の省力化や、密苗、疎植による資材コストの低減に取り組んでいる。
- 病害虫、雑草防除の省力化として、ドローンによる薬剤散布を実施している。
- 立毛乾燥により、乾燥コストの低減を図っている。
- もみのフレコン出荷で流通コストの低減を図っている。

